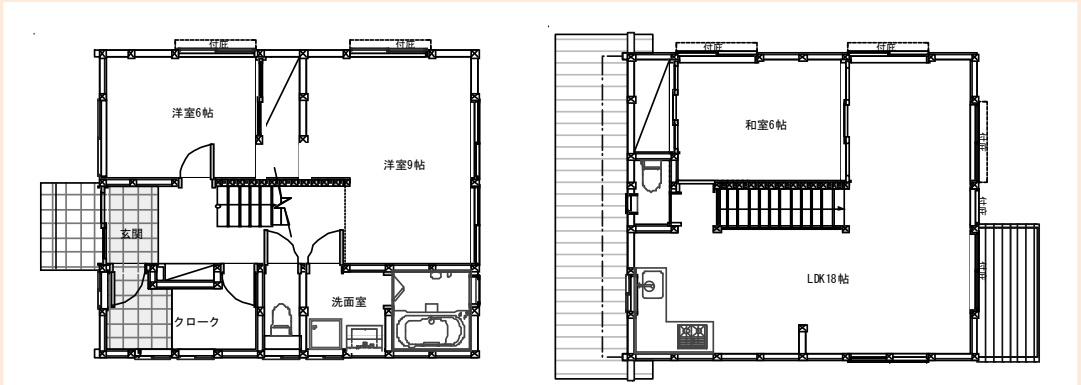
平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要（平成22年度成果報告）

（とりまとめ都道府県名　京都府　）

事業者名：NPO法人住宅再生推進機構（旧再生職人機構）	展示住宅等の建設地住所：京都府京都市右京区梅ヶ畑高鼻町9-26
事業者連絡先：075-371-3155	事業の種類：（①展示住宅、）　②生活体験施設
総事業費：　2,790万円（うち補助金1,451万円）	基本性能等の基準：（①新築（長期優良タイプ）、）　②新築（長寿命化普及タイプ）、　③改修

＜展示住宅・生活体験施設の平面図＞



＜展示住宅等の仕様等＞

①床面積：
（1階）　49.14㎡、（2階）45.36㎡
②外観：
屋根：瓦葺き
外壁：ラスモルタル塗装仕上げ
格子：杉面格子（京都産材）
③構造（部位毎の建材、寸法等）：
柱：　檜四寸（1F）杉四寸（2F）（京都産材）
梁：　赤松四寸　（島根産材）
土台：檜四寸（京都産材）
合板：杉合板（京都産材）
④断熱性能：
次世代省エネ基準対応
⑤展示期間：平成22年4月～平成26年3月

＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

①当モデルハウスは、地域社会に根ざした長期の優良住宅を提供する目的で設計された、京都における地域型長期優良認定住宅モデルです。その為、地域の木材を優先的かつ十分に使いながら、(1)耐震等級2、(2) 次世代省エネルギー基準、(3)維持管理対策等級3、(4)劣化対策等級3、(4) 住宅履歴情報の整備等がなされた長期及び高性能を有しています。
②本モデル住宅では、木材の調達基準を作成し、構造材のみならず、面材や端材に至るまで国産材100%の住宅です。尚、地域産材の調達比率（京都府内産材）は、京都産材73%、その他27%となっています。
③本モデル住宅では、木材の含水率を初期情報を履歴情報として蓄積し、特別なモニタリングシステムを導入する事により、それらが監視されています。

＜平成22年度の成果＞

①来場者数又は生活体験者数（平成22年4月～平成23年3月）：　100名
②来場者又は生活体験者の主な声：
20代女性・・・・・デザインが思ったより都会的で使いやすいと思う。
30代女性・・・・・木がうるさくなく効果的に使われてると思う。
40代男性・・・・・杉や檜だけでないので面白かった。